

能登半島地震被災者支援を！墮落・腐敗の自民党政治はもうゴメン！ 国民の命、暮らしを守るまともな政治を！



2023年6月1日から2024.5.31までの
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2024.1.31 現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	1,186	200	236
備 南	2,500	279	80	56
美 作	800	145	50	33
玉 野	700	170	20	17
県 計	10,000	1,780	350	342



岡山県版

No. 334

2024年2月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

岡山県本部

〒710-0131

倉敷市天城台

4・7-12 福井方

振替 01300-4-99361

mail : family-fukui@
khf.biglobe.ne.jp

能登半島地震の被災者支援を！
年はじめから会員拡大と
国賠署名の目標達成に向けダッシュ！

県本部会長 河井伸士

能登半島地震被災者の苦難と

「ガサ」でのイスラエルの暴行に

心が痛みます。同時に腹が立つの

は記帳も納税もしない「裏金」を

蓄える自民党の国会議員たち。「保

身と政権延命」のために米国、財

界に言いなりになる岸田自公政

権。そんな中で国賠同盟県本部は

年はじめからダッシュ！

岡山支部は

・「沖縄連帯」集会に福井、坪井、

赤沢、小林が参加して57筆の署

名。

・「松元ヒロ」ライブで25筆、小

林さんが集めました。

・岡山医療生協労組が181筆の

署名

・県高教組は10筆。

・民医連退職者の会で河井支部長
が20筆

・ALLA講演会で河井支部長が
5筆の署名を集めました。

・河井支部長が年金裁判公判の集
会で17筆の署名を集めました。

一月二二日には、女性部総会に
参加して訴え、「会員拡大」と「国

賠署名」に頑張ろうと確認されま
した。

休憩の後、第2部で朝倉彰子さ
んが父、山本鶴男、母、みつほに

ついて語りました。

総会では能登半島地震への被災
者救援募金も訴え、八七二六円が

寄せられました。この総会の中で
一人、救援会員が増えたことも良

かったです。

女性部
だより第二回治安維持法国賠同盟
県女性部総会に初めて参加

岡山市

竹内嘉寿子

一月二日に開催された女性部総会に初めて参加。総会は年に1度、必ず開いているそうです。

総会には中村和子女性部長が情勢報告と活動方針を提起し、全国女性交流集会に参加した山崎久美子さんが報告。参加者で合唱するなど大変、和やかで楽しい集いでした。

第2部は朝倉彰子さんが「治安維持法弾圧と闘った父と母」そして満州からの引き揚げ体験」を話されました。



朝倉さんのお母さんは京都生まれで実家は日本で最初の女子高等教育をした京都府立第一高等女学校の教員をされていたとい

う。お母さんは労働運動に参加してそのオルグで岡山におられ、山本鶴男さんと知り合い、ともに活動。山本鶴男さんは当時、農民運動のリーダーで水平社とも共同

して闘っていた。

山本さんは特高警察の執拗な追及を逃れながら闘い続け、満州の撫順で石鹼工として働いている時に徴兵され、残された家族は大変でした。



八月、敗戦の時、満州に残された人達は必死の思いで南へ南へと歩いたという。朝鮮から船で帰ったのは約2割の人。

そんな中でも国民党、八路軍は戦争を中断して日本人の帰国を助けた。私はイスラエルの方ザでの蜜行を思いました。

参加した方も「引き揚げの時、中国人が親切にしてくれた」「『ラーゲルより愛をこめて』の映画の描かれている」という発言もありました。

怒り心頭！ 自民党パーティ券疑惑

岡山支部 坪井貞夫

年が明け、税金の申告準備をする時期となりました。

私たち農家や自営業の人たちは3月15日までに納付が義務付けられ、昨年10月から始まった消費税インボイス導入で収入・支出伝票の適格証明付を記帳・保存しなければなりません。インボイス付きの領収書しか経費として認めない厳しい取り立てです。

今、自民党の派閥・政治家は「軍事費を減らして暮らし、地震被災者への支援を！」「松元ヒロ・ソロライブ」での署名集め

1月14日(日)、西大寺・百花プラザ多目的ホールで催された「松元ヒロ・ソロライブ」会場で、

岡山支部 小林治章

治安維持法で弾圧され、虐殺、獄死した方も多い。国は謝罪と賠償、名誉回復はせねばならない。強く思いました。

治安維持法で弾圧され、虐殺、獄死した方も多い。国は謝罪と賠償、名誉回復はせねばならない。強く思いました。

1000万円を超える裏金をつくり、使途不明の脱法行為が明るみに出ました。派閥幹部は不起訴となり、税務署も「悪質無申告」として「重加算税」をつけることにはなっていない。

苦しい営業と暮らしの中を真面目に記帳、納付している国民には厳しい取り立て。どこまで権力者、政治家は甘い汁を吸うのか！

1月14日(日)、西大寺・百花プラザ多目的ホールで催された「松元ヒロ・ソロライブ」会場で、治安維持法国賠署名に取り組みました。公演事務局の協力もあり、会場ロビーの机に署名を置かせていただき、開園待ちの来場者にも署名を呼びかけました。1時間の行動で25筆を集約しましたが、この中には、国賠署名に協するものは「初めて」と思われる方もいらっしゃいました。

治安維持法同盟第二回備南支部大会

映画「わが青春つきるとも」上映会

備南支部長 谷口洋子

1月14日に船穂公民館で開催。一三名が参加しました。柚木康子さんが議長、池上尚美さんが活動報告と提案を行いました。大会では垣内雄一4区予定候補、田辺まみ倉敷市議、佐藤耕三里庄町議のあいさつ、民商弾圧を闘う、榎屋町子さんが訴えました。

一昨年、急逝した小山博通さんのあとを私、谷口洋子が支部長となりました。副支部長には朝倉彰子さんと小山和正さん。事務局長



は池上さん、事務局次長は柚木さんが再任。いずれも機動力に欠けませんがみなさんのお力を受け、頑張ります。よろしく、お願いします。

2部の映画「わが青春つきるとも」上映会は開会前からチラシを持った方が続々と現れ、二八人の方が観賞しました。女性の参加が目立ち、関心の高さを示しました。映画は多数のエキストラが自前で参加し、俳優陣の熱い思いがこもった演技でした。

一〇〇年前の絶対主義天皇制の弾圧の烈しさとそれに負けない民衆のエネルギー。拘留所内で同志を励ます伊藤千代子とそれに続く人々の熱い思い。早く母を亡くした千代子が浅野晃の母に「お母さんと呼ばせてくれてありがとう」の場面に涙しました。

現在、「新しい戦前」と言われる状況のもとで多くの人に見てほしい映画です。寄せられた感想文を紹介しましょう。

「オール沖縄と連帯し平和を求める集い」に参加して

岡山支部 赤沢 治

一月二三日、県革新懇主催の「沖縄連帯集会」に参加して五七筆の国賠署名を集めました。昨年の日本平和大会に参加した青年代表が知覧の特攻隊出撃基地に行つて「平和の大切さ」を切実に語っていました。平成生まれの若者が「戦争はだめ」と真剣に訴える姿は感動です。

沖縄に平和の礎が建立されていらない頃、故上原亀一郎県議が喜屋武岬で「ここから牛島中将が投身自殺をした」と説明され、戦記物の小説でない感動を覚えています。ひめゆりの塔の近くの「平和祈念館」では悲惨な地上戦が遺品と

「伊藤千代子の生きた当時の女性の立場、働き方、男女平等・・・今の政治の在り方と重なります。全体が現在とリンクします。女性として、治安維持法同盟員としてお手本にしたいです。(七〇歳 女性)」



ともにリアルに再現されています。市民の方か、ここで聞いたか、定かではありませんが「米兵に見つかるといけないから赤ん坊を騙させる」と軍人に強制された母親が「赤ん坊の足をもってガマの岩に頭を打ちつけて黙らせた」と聞き、「日本の軍人も沖縄の人の命を守らないのです」と。岡山から来た私は大変、恥ずかしく思いました。ひめゆりの塔で流されていたバック・ミュージックは「安里屋ユンタ」。島唄が流行したのはそのあとの時代。那覇の海軍壕に太田中将の遺書がありますが「なにを今更」と感じました。観光旅行でない沖縄は一生の宝です。「ヌチドウ宝」。辺野古の埋め立てには絶対、反対です。

治安維持法・国賠同盟 備南支部大会に参加して

倉敷市 小山和正

私が加入している団体はどれも、女性の方が多く元気です。備南支部も女性が大変、元気にみえる。

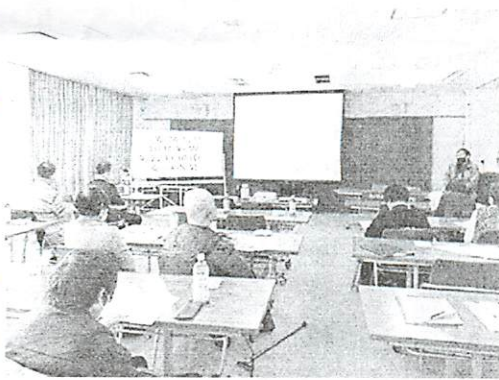
支部大会のあと、上映された映画が「伊藤千代子」。戦前の治安維持法下、不屈に闘う若き女性を描いている。ある活動家はこの映画の感想を聞かれ、すぐには答えられず、「うーん。ちょっと重たい映画?…」と答えたという。

同感、私ももし、聞かれたら、そう答えたと思う。しかし、重いけれども見ておかなければならない映画だ。かつてドイツの大統領ワイツゼッカーは「過去に目を閉ざすものは現在にも盲目になる」と言い、ナチスの戦争犯罪の時効を停止し、いまだに責任を追及している。

日本でも昨年、NHKが天皇の「拝謁記」の番組が放映した。側近の侍従が書き残したもので、その中で天皇は「私はヤメタかった、しかし、軍部が走り、報道も

国民も戦争一色でその勢いを止められなかった」と・・・私は言いたい。「それでは戦争は誰が起したのだ?なぜ、起きたのか?」「千代子は何のために死んだのか」「誰に千代子は殺されたのか」「千代子がいのかをかけた青春とは何だったのか」。

今、ウクライナやガザで起っていることに思いを馳せて、この「重たい映画」をもう一度見ようと思う。三度目をー

倉敷民商弾圧事件 逮捕から一一年になる一月二〇日
倉敷駅前でマイク宣伝、ビラと署名行動

この行動は「倉敷支える会」、救援会倉敷支部、倉敷民商と榎屋町子さん、国賠同盟県本部など一三名が参加。



榎屋町子さんは「逮捕された時から今日で一一年。やつてもいい罪で428日間、3畳の監獄につながれました。広島高裁が有罪判決を覆し、審理やり直しを決め、5年を経過。ようやく岡山地裁で公判が始まりました。私は無罪です。今、全国の仲間の支援と30万筆を超える署名が裁判所を包囲しています。あと、一押し、もう一押し、闘いと支援の輪を広げ、何としても無罪を勝ち取ります」と訴えました。

榎屋さんの訴えにビラを受け取り、立ち止まる人、引っ返して署名をする方が幾人もいました。用意したビラがなくなるまで頑張りました。

翌、二二日には岡山駅サンステ通路で二五人が参加して同様の行動が取り组まれました。

1月 事務局日誌

10日 県本部常任理事会
12日 笠岡「わが青春つきるとも」実行委員会
美作支部役員会
玉野支部役員会

14日 備南支部大会

「わが青春つきるとも」

船穂上映会

15日 岡山支部役員会

「不屈」美作版発行
女性部会議

20日 「倉敷民商・榎屋裁判」

倉敷駅前宣伝

21日 県女性部総会

25日 笠岡「わが青春つきるとも」実行委員会

26日 県人権研究会実行委員

27日 AALA 講演会

30日 年金裁判公判集会